

平成 30 年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成 30 年度予算は、平成 29 年 12 月 20 日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成した。

資金収入については、学生生徒等納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の 1,800 千円とし、入学金も前年度と同額の 400 千円として、入学予定者数を定員 270 人にて積算した。手数料収入は、入学志願者の減少を見込み、学部入学検定料他で前年度比減額とした。寄付金収入は、前年度実施した「神戸薬科大学教育研究資金募金」の本格実施により前年度比増額とした。補助金収入は、経常費補助金（特別補助を含む）の減少を見込み、前年度比減額とした。付随事業・収益事業収入は、補助活動収入の増加を見込むが、受託事業収入の減少により、前年度比減額とした。受取利息・配当金収入は、運用利回り低下の一方で、運用資金の増加を見込み、前年度比微増とした。その他の収入は、退職給与引当資金からの取崩し分他を計上した。

資金支出については、人件費支出は、余剰枠の見直しや退職金支出の減少により、前年度比減額とした。教育研究経費支出は、経常の研究室配分研究費（新たに特許出願数を考慮）を中心に、長期実務実習・共用試験関係費、電子ジャーナル・データベース利用料など教育研究の充実を図るための計上その他、奨学金の拡充を行う一方で、経常経費の節減により、前年度比微減とした。管理経費支出は、経常経費の節減に努めたが、如修塾改修に伴う寮生の一時転居費用や人事・給与システム更新費他で前年度比増額とした。施設関係支出は、「キャンパス整備計画」における如修塾改修費や学生寮建替用地取得費他を計上し、設備関係支出は、教育研究環境の整備・充実のため、4 号館他のエレベータ更新・整備、大型機器（MS、NMR）更新、11 号館 3 階講義室他の液晶プロジェクター更新、関係委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入費他を計上した。資産運用支出は、今後の「キャンパス整備計画」に係る支出に備えた第 2 号基本金引当資金他を積立計上した。

以上の結果、翌年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生生徒等納付金収入

学部学生授業料は新入生 270 人、2 年次～6 年次生 1,455 人について、1,800 千円とし、入学金は 400 千円とした結果、その他と合わせ前年度比 24,400 千円増の 3,236,300 千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数の減少を見込み、センター入試を含めて 88,000 千円と想定し、その他の手数料と合わせて前年度比 9,200 千円減の 103,200 千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金 12,000 千円、教育研究資金募金 5,000 千円他で前年度比 5,000 千円増の 20,000 千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は特別補助を含め 250,000 千円、学術研究振興資金 4,000 千円、その他の補助金と合わせて前年度比 10,000 千円減の 254,100 千円を計上した。

(5) 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は寮費、入寮費及び如修塾改修に伴う寮生の一時転居期間中の寮生負担費用受入により 39,800 千円を計上し、受託事業収入 9,000 千円と合わせて前年度比 1,200 千円減の 48,800 千円を計上した。

(6) 受取利息・配当金収入

運用資金の 30 年度期中予想 110 億円を、利回り平均 0.42%で運用するとして、前年度比 500 千円増の 46,300 千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金 87,000 千円、科研費間接経費 17,500 千円、企業との共同研究経費 7,500 千円他で 117,000 千円を計上した。

(8) その他の収入

退職給与引当資金 23,000 千円繰入れ他で 130,000 千円を計上した。

2. 資金支出

(1) 人件費支出

教員 87 人、職員 46 人、教育研究支援職員 16 人及び非常勤教員とアルバイト職員他の給与に定年退職者 5 名の退職金を合わせ、前年度比 35,000 千円減の 1,755,500 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費支出は、長期実務実習・共用試験関係費 253,000 千円、電子ジャーナル・データベース利用料 75,500 千円、学部・大学院奨学金 44,100 千円、学長裁量経費 25,000 千円、国家試験対策関連費 20,000 千円他で前年度比 1,000 千円減の 1,176,800 千円を計上した。

管理経費支出は、如修塾改修に伴う寮生の一時転居費用 61,000 千円、人事・給与システム更新費 27,000 千円、施設設備予約システム 6,000 千円、3 号館西側斜面調査 4,400 千円、商標登録関係費用 3,100 千円他で前年度比 108,100 千円増の 381,900 千円を計上した。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係支出は、如修塾改修費 330,000 千円、学生寮建替用地取得費 150,000 千円、北門門扉取替 4,700 千円、1 号館地階改修費 4,400 千円、キャンパスバリアフリー化（北門～4 号館の石畳通路整備）3,700 千円、基礎教育センター 1 号館移設費 3,500 千円他で 498,900 千円を計上した。

設備関係支出は、4・5・10・11 号館エレベータ更新・整備 61,000 千円、大型機器（MS、NMR）更新 60,000 千円、液晶プロジェクター更新（11 号館 3 階 K1131 他 計 10 台）26,000 千円、10 号館設備整備 10,000 千円、学生会館放送設備設置 5,700 千円、アイソトープ実験施設照明改修 3,500 千円、関係委員会選定の研究用機器 34,000 千円や実習用機器 10,000 千円、図書費 8,800 千円他で 258,600 千円を計上した。

(4) 資産運用支出

第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）300,000 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）20,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、研究準備積立金 5,000 千円の各積立により 375,000 千円を計上した。

(5) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(6) 翌年度繰越支払資金

翌年度繰越支払資金は 607,000 千円となり、前受金収入 393,200 千円は維持できる見込み。

II. 事業活動収支

事業活動収支については、教育活動収支差額 82,000 千円の支出超過、教育活動外収支差額 46,300 千円の収入超過を合わせ、経常収支差額は 35,700 千円の支出超過となり、予備費を含めた基本金組入前当年度収支差額は 55,700 千円の支出超過となる。これに基本金 847,300 千円を組入れした当年度収支差額は 903,000 千円の支出超過となり、さらに前年度繰越収支差額 140,900 千円の収入超過を加えた最終的な翌年度繰越収支差額は 762,100 千円の支出超過となるため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。